

Russian TEA

映画・音楽・演劇

アート・テレビ・講演会

ロシア関連情報紙



発行：日ロ交流協会 / 〒106-0041東京都港区麻布台3-4-14-401 / TEL03(5563)0626 FAX03(5563)0752 / E-mail:nichiro@nichiro.org / http:www.nichiro.org

- 『ロシアン・ティ』は日ロ交流協会が会報『日ロ交流』の付録として発行するロシア関連情報誌です。日本(主に関東周辺)におけるロシアと一部東欧の関連情報を最大限掲載します。ここに掲載なさりたい情報がございましたら協会事務所(TEL03-5563-0626/Fax03-5563-0752 または郵送)までお送りください。情報掲載料は無料です。見本が必要な方は協会事務所へご連絡下さい。
- 掲載された情報についての問合せは全て掲載している問合せ先((問)と記載)にお願いします。情報には正確を期しておりますが、掲載内容に間違いがあった場合の責任は負いかねます。足を運ばれる前に会場等へご確認の問合せをお勧めします。

◆◆◆ 日ロ交流協会関連情報 ◆◆◆

*お願い：NPO日ロ交流協会ではロシアでの日本の伝統文化などの紹介、国内でのロシア関連の学習会、ロシア人とのイベント交流など幅広い活動を続けています。これらの活動を一層推進させるために皆様からのご寄付をお願い申し上げます。一口千円からいくらかでも結構です。お振込みの際は寄付であることが分かるようにお手数ですがお名前の前に番号「01」をお入れください。どうぞよろしく願いいたします。振込先：郵便口座00160-9-66486、加入者名：日ロ交流協会/連絡先：日ロ交流協会事務局。E-Mail: nichiro@nichiro.org.

★★★ 映画 ★★★

- 第23回 ロシア語映画発掘上映会「真紅の帆」/5/5(日) 14:00/港区札の辻スクエア11階 ホール小/日本語字幕付き。海辺の小さな村に住むアッソーリは、赤い帆を掲げた船がいつか自分を迎えに来るという美しい夢を、幼い日より信じ続けていた。広い海の彼方では、若き青年グレイが船に真紅の帆を揚げ、まだ見ぬ運命へと歩みはじめる。きらめく海と空を背景に、夢見る心の尊さをうたいあげる詩情とロマンに満ちた物語。東京大学名誉教授の沼野充義氏とロシア文化研究者の田中まさき氏の対談プレトークあり/ (問) acesquare2023@gmail.com

★★★ コンサート ★★★

- ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2026 「LES FLEUVES(レ・フルーヴ)―大河」/東京国際フォーラム/5/3(日・祝) 9:30~22:15、ホールD7、広瀬悦子Pf、ソフォス弦楽四重奏団、アフアナシエフ：弦楽四重奏曲イ短調「ヴォルガ川」から第3楽章アダージョ、大人3000 こども2700、ホールG409、五十嵐薫子Pf、ムソルグスキー：組曲「展覧会の絵」、大人2900 こども2600、ホールG409、パク・ジェホンPf、ラフマニノフ：13の前奏曲Op. 32、大人2900 こども2600/5/4(月・祝) 9:45~22:30、ホールA、指揮：本名徹次、アイレン・ブリッチンVn、ソフィア・リュウPf、新日本フィルハーモニー交響楽団、チャイコフスキー：ピアノ協奏曲第1番変ロ短調Op. 23、大人S3300 A2800 B1700 こどもS2800 A2300 B1200、ホールD7、広瀬悦子Pf、グラズノフ：ヴォルガの舟歌Op. 97、ムソルグスキー：組曲「展覧会の絵」、大人3000 こども2700/ (問) ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 運営委員会事務局 lfjtokyo2026@kajimotomusic.com
- N響ゴールデン・クラシック2026/5/5(火・祝) 17:30/サントリーホール 大ホール/指揮：梅田俊明、ジョージ・ハリオノPf、ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第3番ニ短調Op. 30、チャイコフスキー：交響曲第4番ヘ短調Op. 36/S8800 A7700 B6600 P5500/ (問) サンライズプロモーション 0570-00-3337
- 新日本フィルハーモニー交響楽団 第670回定期演奏会/5/8(金) 19:00/サントリーホール 大ホール/指揮：ミシェル・タバシュニック、アンドレイ・イオニーツァVc、シヨスタコーヴィチ：チェロ協奏曲第1番変ホ長調Op. 107/SS12000 S9400 A7800 B5700 C4700 P4200/ (問) 新日本フィル・チケットボックス 03-5610-3815
- 岡山フィルハーモニック管弦楽団 東京特別公演/5/9(土) 14:00/サントリーホール 大ホール/指揮：尾高忠明、中桐望Pf、ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番Op. 18、交響曲第2番Op. 27/S6000 A5000 B4000 C3000 車椅子席4000/ (問) 岡山フィルハーモニック管弦楽団 086-234-7177
- N響ベストクラシックス リオ・クオクマン(指揮)×萩原麻未(Pf)×NHK交響楽団(管弦楽)/5/9(土) 15:00/かつしかシンフォニーヒルズ モーツァルトホール/リムスキー=コルサコフ：交響組曲「シエラザード」作品35/S7500 A6500/ (問) かつしかシンフォニーヒルズ 03-5670-2233
- ポロニア・フィルハーモニー管弦楽団 第11回定期演奏会/5/10(日) 13:30/ミュゼザ川崎シンフォニーホール/指揮：田部井剛、丸山風乃Pf、プロコフィエフ：ピアノ協奏曲第3番ハ長調作品26、ムソルグスキー：組曲「展覧会の絵」/S2000 A1000/ (問) ポロニア・フィルハーモニー管弦楽団広報 080-4153-0723
- 2026ロシア文化フェスティバル・オープニング日ロ合同コンサート/5/11(月) 18:30/東京・銀座プロッサム/アレクサンドル・ラムVc、ニキータ・リュチコフCl、ティモフェイ・ウラジーミロフPf、今川こころVn、堀江牧生Vc、渡部智也Br、服部麻実Sop、メトネル：忘れられた調べ第1集Op. 38 No. 4ホ短調 川の歌、ムソルグスキー：愛の言葉が何でしょう/全席指定5000/ (問) ロシアン・アーツ 03-5919-1051
- ロシアの新星コンサート2026/5/12(火) 14:00、東京都 音楽の友ホールAプロ/5/13(水) 14:00、横浜みなとみらいホール 小ホールBプロ/アレクサンドル・ラムVc、ニキータ・リュチコフCl、チモフェイ・ウラジーミロフPf、Aプロバハ：無伴奏ヴァイオリン・パルティータ第2番第5楽章「シャコンヌ」、チャイコフスキー：バレエ音楽「白鳥の湖」より「ロシアの踊り」、Bプロラフマニノフ：ピアノソナタ第2番変ロ短調Op. 36、シヨスタコーヴィチ：チェロソナタロ短調Op. 40/全席指定3000/ (問) ロシアン・アーツ 03-5919-1051
- 日本フィルハーモニー交響楽団 第413回名曲コンサート/5/17(日) 14:00/サントリーホール 大ホール/指揮：藤岡幸夫、チャイコフスキー：交響曲第5番ホ短調Op. 64/S9000 A7500 B6500 C5500 P4500 Gs5500 Ys2500/ (問) 日本フィル・サービスセンター 03-5378-5911
- パーヴォ・ヤルヴィ指揮 チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団/5/21(木) 19:00/すみだトリフォニーホール 大ホール/反田恭平Pf、ベーターヴェン：ピアノ協奏曲第3番ハ短調Op. 37、チャイコフスキー：交響曲第5番ホ短調Op. 64/S25000 A20000 B15000 C10000 D7000/ (問) ジャパン・アーツびあ 0570-00-1212

- NHK交響楽団 第2065回 定期公演Cプログラム/5/29 (金) 19:00、5/30 (土) 14:00/NHKホール/指揮: アンドリス・ポーガ、シヨスタコーヴィチ: 交響曲第4番ハ短調作品43/S10000 A8500 B6500 C5400 D4300 E2200/ (問) N響ガイド 0570-02-9502
- Orchestra Est 第13回演奏会/5/30 (土) 13:30/ミュゼザ川崎シンフォニーホール/チャイコフスキー: 組曲第4番「モーツァルティアーナ」、交響曲第6番「悲愴」/全席自由1500/ (問) Orchestra Estチケット担当 080-3891-7626
- アウローラ管弦楽団 第35回定期演奏会/5/30 (土) 13:30/すみだトリフォニーホール 大ホール/指揮: 米津俊広、ハチャトゥリアン: パレエ音楽「ガイース」より、シヨスタコーヴィチ: 交響曲第10番ハ短調/全席指定1000/ (問) アウローラ管弦楽団広報担当 avrora@td-serv.net
- 読売日本交響楽団 第287回土曜マチネシリーズ 5/30 (土) 14:00、第287回日曜マチネシリーズ 5/31 (日) 14:00/東京芸術劇場 コンサートホール/指揮: シルヴァン・カンブルラン、シモン・ネーリングPf、チャイコフスキー: 交響曲第6番 ロ短調 作品74「悲愴」/S8800 A6600 B5500 C5000/ (問) 読響チケットセンター 0570-00-4390
- 都響プロムナードコンサートNo. 417/5/30 (土) 14:00/サントリーホール 大ホール/指揮: アウレル・ダヴィデック、務川慧悟Pf、児玉隼人Tp、グリムカ: オペラ「ルスランとリュドミラ」序曲、チャイコフスキー: 交響曲第5番ハ短調Op. 64/S7000 A6000 B5000 P3500/ (問) 都響ガイド 0570-056-057
- ヤープ・ヴァン・ズヴェーデン指揮 藤田真央Pf フランス放送フィルハーモニー管弦楽団/5/31 (日) 15:00/横浜みなとみらいホール 大ホール/ラフマニノフ: ピアノ協奏曲第3番ニ短調Op. 30/S26000 A 22000 B18000 C13000 D9000/ (問) 神奈川県芸術協会 045-453-5080
- 小林研一郎 新宿区名誉区民顕彰記念コンサート/5/31 (日) 15:00/新宿文化センター 大ホール/指揮: 小林研一郎、金子三勇士Pf、東京フィルハーモニー交響楽団、ラフマニノフ: ピアノ協奏曲第2番ハ短調Op. 18、チャイコフスキー: 交響曲第5番ハ短調Op. 64/S5000 A4000/ (問) 新宿文化センター 03-3350-1141

★★★ その他 ★★★

●生誕120年「てぶくろ」の画家ラチョフと民話絵本の世界/ 5/10 (日) 迄/ちひろ美術館・東京/展示室1リアルな動物たちに民族衣装を着せ、人間の性格を巧みに重ね合わせた独自の動物民話を数多く描いた画家エフゲーニー・ラチョフ。代表作である絵本「てぶくろ」の絵本原画6点と未収録のラストシーン1点を展示。またラチョフの立体作品を含むコレクション全32点も展示。展示室2ロシアの絵本の歴史をひもとき、ちひろ美術館コレクションの中から東スラブの民話の世界を紹介。(問) ちひろ美術館・東京 広報 03-3995-0772

★★★ 新刊 ★★★

●浮かぬ騒ぐロシア/4180/成文社/坂内徳明著/ロシア帝国の都サンクト・ペテルブルクの町外れのエカテリンゴフは、18世紀初頭に対スウェーデンとの海戦勝利と早春到来を祝うためにピョートル大帝が離宮と庭園を造った場所である。造営から100年後、市民の祝祭の場所へ再生する。大挙して押し掛ける人々は、上は皇族・貴族から庶民まで。最高に昂揚する祝祭の様子を記録すべく、耳の不自由な画家、長老詩人、気鋭ジャーナリストが腕を振るった。残されたパノラマ版画、頌詩、ルポルターージュは、時間じくして勃発する大洪水やデカブリスト叛乱と絡み合っただけで大きな時代のうねりを物語る。

●未還の名簿 シベリア最下層捕虜・村山常雄の祈り/2200/集英社/青島 颯(著)/シベリア抑留死亡者46,300人の名簿を、たった一人で作った老帰還兵。執念と鎮魂の衝撃ノンフィクション。ようやく1990年以降、ソ連とその継承国から日本へ死亡者名簿が届いた。人の死が軽く扱われていないか? 悲しみと怒りを覚えたシベリア帰還兵・村山常雄。正確な死亡者名簿作りが始まった。先の見えない作業。孤独な闘いの日々。その情熱と知恵が周囲の人々や日本政府関係者を動かし、ついに奇跡を起こした。

●一寸先は闇/1034/幻冬舎新書/五木寛之、佐藤優著/2025年12月25日一昭和が始まって100年目となった。「激動の昭和」といわれながらも戦後はどこか無自覚な平和(=戦争のない状態)が80年続いた。が、今やルールとパラダイムは完全に変わった。世界情勢は予測不能となり、かつ瞬時に変貌するのだ。その中で、変わらぬもの、変わるべきものは何か。「昭和の最初の20年」を追体験でき、日本の限界を知る寄り辺となる多面的歴史篇。希望と激励の書。

●スターリン主義から百年の世界/1540/文藝春秋/高橋彬著/トランプもプーチンも習近平も、そして高市早苗も。共産主義、世界大戦、冷戦を経て「妄想依存時代」となり果てた現状を独特な視点で分析した「現代世界論」のイロハ。

●厳選中世ロシア奇譚集/5500/松籟社/三浦清美訳/『セルビア版アレクサンドロス大王物語』『至賢アキルの物語』など、中世ロシアの想像力の性質を端的に表す20の物語を厳選・収録。厳しい現実のなかで光を夢見る差し迫った幻想性を備えたこれらの作品は、きらびやかで妖しい奇想のうちに、ロシアをロシアとして成り立たしめている「精神」のありようをうかがわせる。

●日露戦争(新装版)/3300/吉川弘文館/千葉功著/帝国主義全盛の20世紀初頭、日清戦争に勝利した日本が朝鮮・満洲の支配をめぐる帝政ロシアと争った対外戦争。開戦にふみきった複雑な国際的要因をはじめ、戦争遂行に向けた軍事・政治・経済的施策、戦時国民動員による社会への影響、日本の帝国化など、さまざまな角度から解説。国定教科書や映画・小説にみえる「日露戦争観」の変遷にも触れる。

●ソ連共産党とは何だったのか/2420/かもがわ出版/聴濤弘著/ソ連共産党とのほぼ全会談に日本共産党代表として出席した著者が、社会主義を崩壊させた誤りを大國主義、官僚主義、社会主義論など全分野から突く。

●バグのラスコーリニコフー進化心理学と行動経済学で読む『罪と罰』/2530/晶文社/榎原辰郎著/『罪と罰』は認知バイアスの教科書だったロシア文学の最高峰にして重厚で難解な作品とされる『罪と罰』。しかし本書はドストエフスキーを、人間の非合理性を笑い飛ばす喜劇作家として大胆に再定義する。なぜラスコーリニコフは非合理的殺人に手を染めたのか? なぜソーニャは過酷な環境をたくましく生き抜けるのか? 著者は進化心理学、行動経済学、認知科学といった最新サイエンスを駆使して、登場人物たちの行動原理を徹底解剖。名作を再解釈していく。

●傷ついた身体と都市:「大祖国戦争」の経験と記憶/3080/白水社/松本祐生子著/「大祖国戦争」と称される第二次大戦時の独ソ戦は、現代ロシアのナショナル・アイデンティティを構成するきわめて大きな要素だ。870日以上「包囲」を経験したレニングラード(現サンクト・ペテルブルク)を主たる舞台とし、この街の労働者の身体、レニングラード防衛博物館、そして都市の祝典をとりあげながら、国家の公的な「歴史」からは取りこぼされてしまう人々の「大祖国戦争」に対する「応答」の痕跡を掬いとる試みである。